

報道関係各位

2025年12月4日

札幌学院大学 企画政策課

〒069-8555 北海道江別市文京台 11 番地

[TEL] 011-386-8111

[E-Mail] seisaku@ims.sgu.ac.jp

## 法学部在学者の司法試験合格者が誕生しました

難関「予備試験」突破から司法試験合格へ

札幌学院大学（北海道江別市、学長：菅原 秀二）は、このたび法学部の学生が在学中に司法試験に合格したことをご報告いたします。学部在学中の司法試験合格は極めて稀であり、全国的にも限られた例にとどまる大変顕著な成果です。本学では、今回の快挙を称え、当該学生のこれまでの弛まぬ努力に対して報奨を授与することといたしました。

日本の司法試験は、通常は法科大学院修了者を中心に高い専門性をもつ受験者によって争われる難関試験です。その中で本学生は、法科大学院を経ず「司法試験予備試験」合格を経て本試験に臨みました。予備試験は合格率約3～4%前後とされ、司法試験と同等の法的知識に加え、厳密な論文能力や実務的思考が問われる、全国でも最難関と評される試験です。この困難な道のりを学部在学中に突破した点は、学生本人の卓越した学修姿勢と継続的努力の結晶であり、法学教育に携わる者にとっても大きな励みとなる成果です。

本学法学部では、法律が社会のあらゆる領域——経済や労働、医療、環境、インターネット、文化・スポーツなど——に深く関わっていることを踏まえ、教養科目から専門科目までを有機的に連動させた学修環境を整備してきました。1年次からの法律学の基礎の勉強や法学検定試験への挑戦、2年次以降の課題解決型学習など、段階的に「アーリー・スモール・サクセス」を積み重ねる教育によって、学生は法的知識や課題解決力、自主的な学習習慣を着実に伸ばしていきます。

こうした教育の一環として、実務家教員による指導、さらに地域インターンシップや企業インターンシップ、模擬裁判ゼミナールなど、多様なフィールドでの学びも重視しています。異なる世代・職業の方々との対話や協働を通じて培われる行動力・対話力・解決力は、学生の視野を広げ、地域社会とグローバル社会に貢献できる人材へと成長する基盤となっています。

今回、本学法学部から在学中の司法試験合格者が誕生したことは、こうした学部の教育体制が確かな成果を生みつつあることを示すとともに、学生一人ひとりが主体的に挑戦し、段階的に成長を重ねる学修環境が着実に根づいている証といえます。今後も、札幌学院大学法学部は専門的知識と社会の課題に対する洞察力、そして地域と社会に貢献する行動力を兼ね備えた人材の育成に努めてまいります。